

土木施設等に係る伝統的工法を活かした地域づくり

SATテクノロジー・ショーケース2016

■ はじめに

平成20年に歴史まちづくり法(地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律)が制定されて以来、地域固有の歴史と文化を活かしたまちづくりが、全国各地で進められてきた。法律に基づく認定を受けた49の市町(平成27年10月現在)では、法律上の特例措置や各種事業制度を活用しながら、地域の伝統を反映した人々の暮らしと、歴史的価値の高い建造物及びその周辺環境を活かした「歴史まちづくり」を進めてきた。

近年、様々な歴史まちづくりの取り組みが行われる中、東日本大震災や訪日観光客の増加をはじめとする社会情勢を受け、防災・減災や観光振興への活用も視野に入れた、土木遺産の多面的な評価が高まっている。歴史的価値を有する土木施設の保全・活用はもちろん、一般的な土木施設の整備についても、伝統的工法をはじめ、地域の景観・環境に配慮した工法の選定を通じて、総合的な地域づくりへ効果的に結び付けることが求められている。

そこで、国土技術政策総合研究所緑化生態研究室では、歴史まちづくり支援の一環として、地域づくりに効果的な土木施設等に係る伝統的工法の保全・活用方策について、調査・研究を行ってきた。

■ 活動内容

1. 伝統的工法の技術的特徴と地域分布

石積み、土塀、生垣・屋敷林、煉瓦構造物を対象に、各施設に係る伝統的工法を全国から収集・整理し、地域の特徴に基づく体系的な整理を行うとともに、その保全・活用に向けた課題を明らかにした。文献調査、識者へのヒアリング及び現地調査の結果に基づき、気候風土や地場材の性質に応じた地域固有の工法について、その技術的な特徴と時代に応じた地域分布の変遷を分析した。伝統的工法に係る仕事の減少を背景に、技術の継承が途絶えた工法や材料の確保が困難な工法が多数確認されており、伝統的工法を支える人的、物的基盤の再構築が緊急の課題であることが分かった。

2. 地域づくりに効果的な伝統的工法の保全・活用手法

土木施設等に係る伝統的工法の保全・活用に向けた先進的な取り組みを全国から収集し、ケーススタディを通じて、土木遺産の保全・修復及び伝統的工法の継承・活用手法の構築に取り組んでいる。金沢職人大学校をはじめとする各種業界団体や行政による人材育成・確保の取

組み、御影地区「石の銀行」をはじめとするNPO法人やまちづくり団体による地域資源の有効活用に向けた取り組み、公共事業における伝統的工法を用いた土木施設の整備に向けた取り組み等について、各方策の有効性と汎用性の検証を行っている。

■ 関連情報等(特許関係、施設)

伝統的工法に関する調査と並行して、地域の歴史・文化を活かしたまちづくりのアイデアやノウハウを共有するため、歴史まちづくり法に基づく認定都市における歴史的風致の維持・向上に向けた取り組みを一元的に集約したデータベースの整備に取り組んできた。平成27年7月、データベースの情報を、認定都市の関係者のみならず、全国の行政や民間のまちづくり関係者、並びにまちづくりに関心のある一般の方々へ提供するため、国総研のホームページに「歴史まちづくり情報サイト」を開設した。

(URL | <http://www.nilim.go.jp/lab/ddg/rekimachidb/>)



写真1. 人材育成に向けた取り組み
左) 穴太積み講習会、右) 金沢職人大学校・左官塾



写真2. 伝統的工法を活用した観光地の魅力向上
左) 金沢市・長町地区土塀、右) 有田町・上有田地区トンバイ塀

認定都市名 全て

都市の成り立ち 全て

文化財の種類 全て

時代区分 全て

検索する

項目別の情報検索

認定都市の基本情報【岐阜市】

各認定都市の情報

認定都市	認定都市	認定都市
認定都市名	認定都市	認定都市
認定都市	認定都市	認定都市
認定都市	認定都市	認定都市

図1. 歴史まちづくり情報サイトのイメージ

代表発表者 **西村 亮彦 (にしむら あきひこ)**
 所属 **国土交通省 国土技術政策総合研究所
 防災・メンテナンス基盤研究センター
 緑化生態研究室**
 問合せ先 **〒305-0804 茨城県つくば市旭1番地
 TEL: 029-864-2742 FAX: 029-864-0598
 nishimura-a92ta@nilim.go.jp**

■キーワード: (1) 伝統的工法
 (2) 歴史まちづくり
 (3) 地域づくり
 (4) 土木施設